2021年１月18日（月）

第60期（2021年３月期）
第３四半期決算説明会

（2020年４月１日～2020年12月31日）

執行役員　管理本部長　川久保　秀樹

経営企画部　広報課　山下　洋

将来予測に関する注意事項

　この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

　本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第60期（2021年３月期）第3四半期損益計算書

単位：百万円 切捨て	20.3 59期3Q実績		21.3 60期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	28,060		27,696		△363	98.7%
営業利益	4,104	14.6%	4,508	16.3%	403	109.8%
経常利益	4,520	16.1%	4,919	17.8%	399	108.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,576	16.3%	4,296	15.5%	△279	93.9%
EPS	151.52円		142.11円			

HOGY

4

■減収減益

売上高　　：新型コロナによる手術件数への影響は改善傾向にあるが、KIT製品を中心に影響を受ける

：感染防止関連製品（ガウン・マスク・プリコーションセット）の特需が発生

：第2四半期以降は増収（コロナ影響減少、感染防止関連製品の特需）

原価率　　：58.0%(前年比-0.5pt)

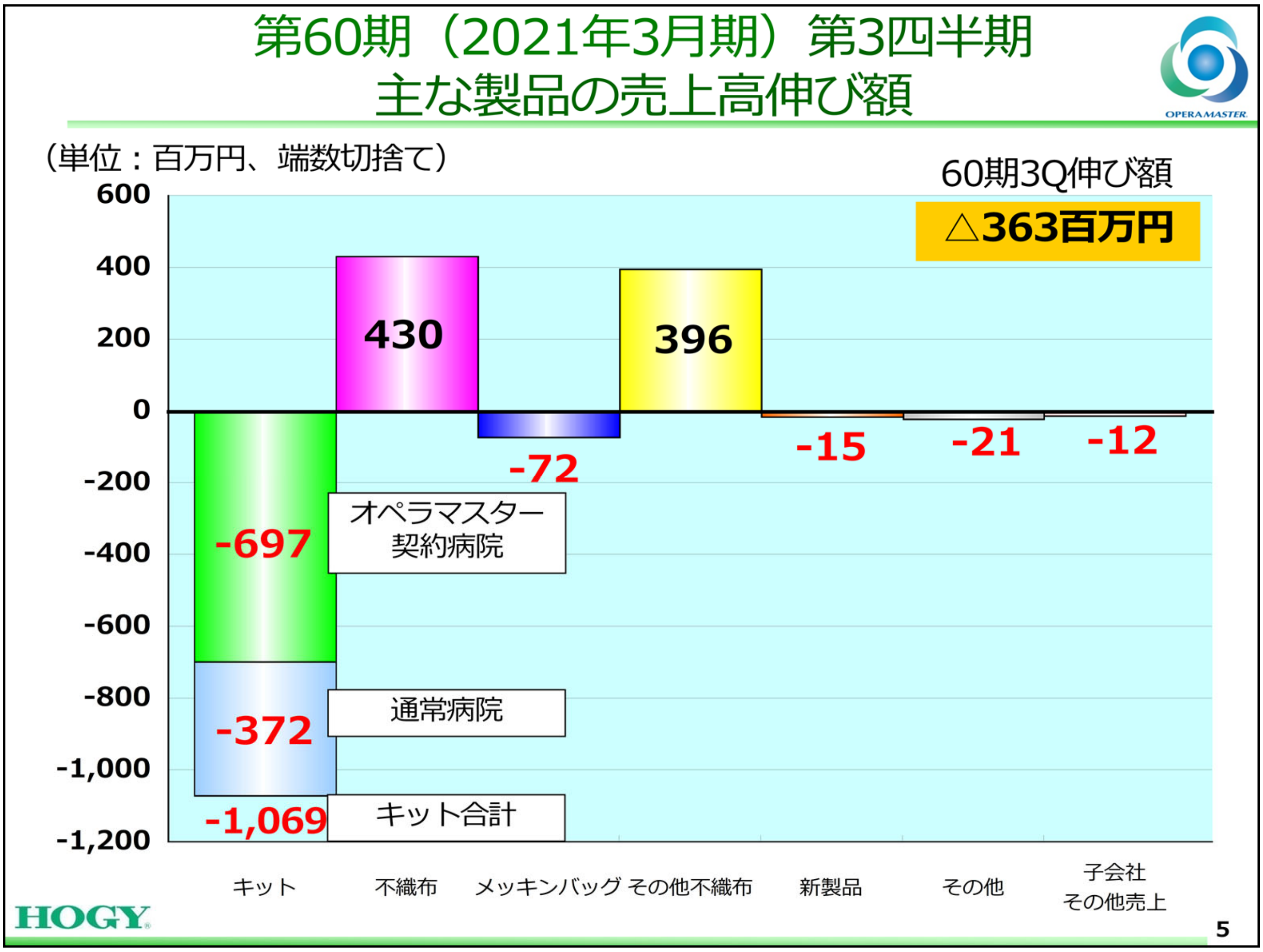
償却費の減少

製造量減少による生産性への影響

販売管理費：新型コロナによる営業活動量の減少により旅費交通費や見本費の減少

特別利益　：保有していた有価証券の売却益　1,028百万円

＊前年1,942百万円



・新型コロナにより手術件数が減少(延期)し、KIT製品を中心に減収（影響は減少中）

・プレミアムキット・ブリスターキットは8.7%の増収

・不織布（ガウン、プリコーションセット）とその他不織布（マスク）は特需が発生

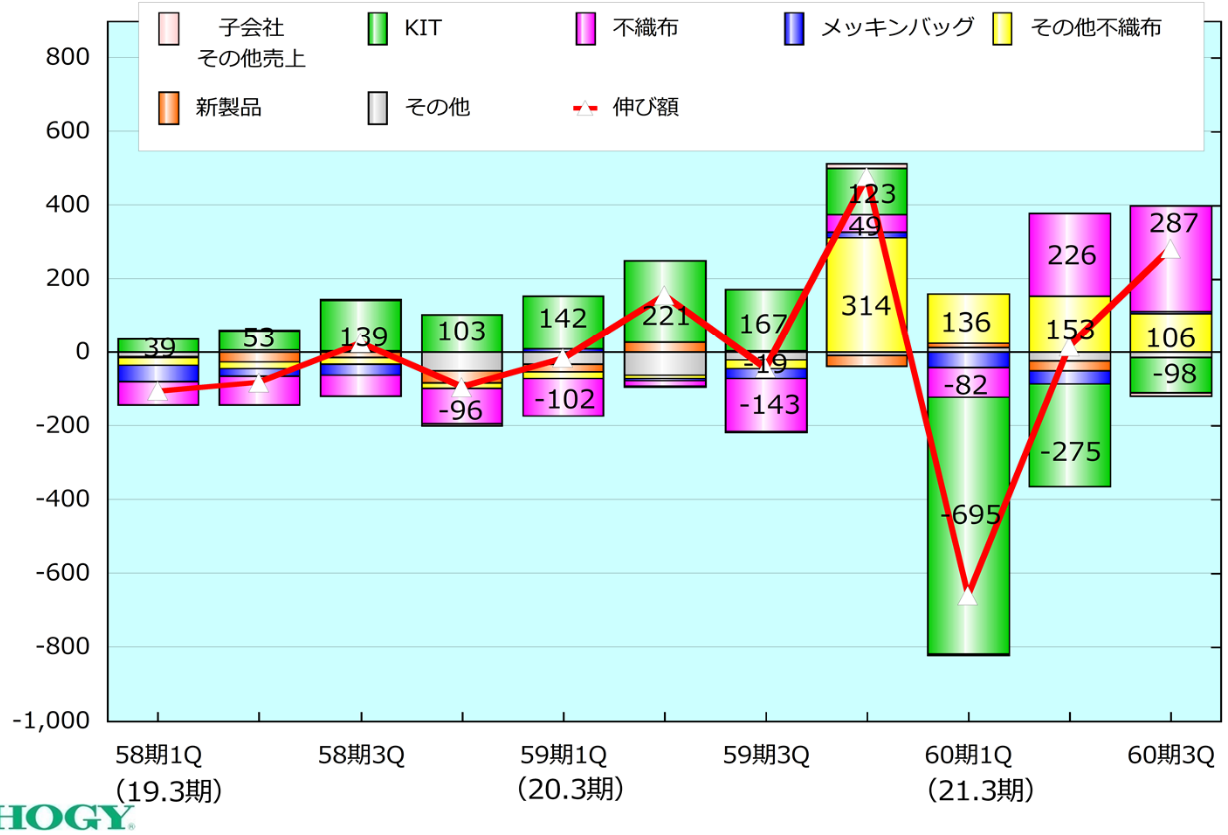
・医療機関で起きた医療材料不足への対応

・営業活動については医療機関の意向を確認し、制限付き活動を継続（営業員はPCR検査で陰性を確認）

・オペラマスター　新規契約3施設、解約5施設

第60期（2021年３月期）
四半期別売上高伸び額の内訳

（単位：百万円、端数切捨て）



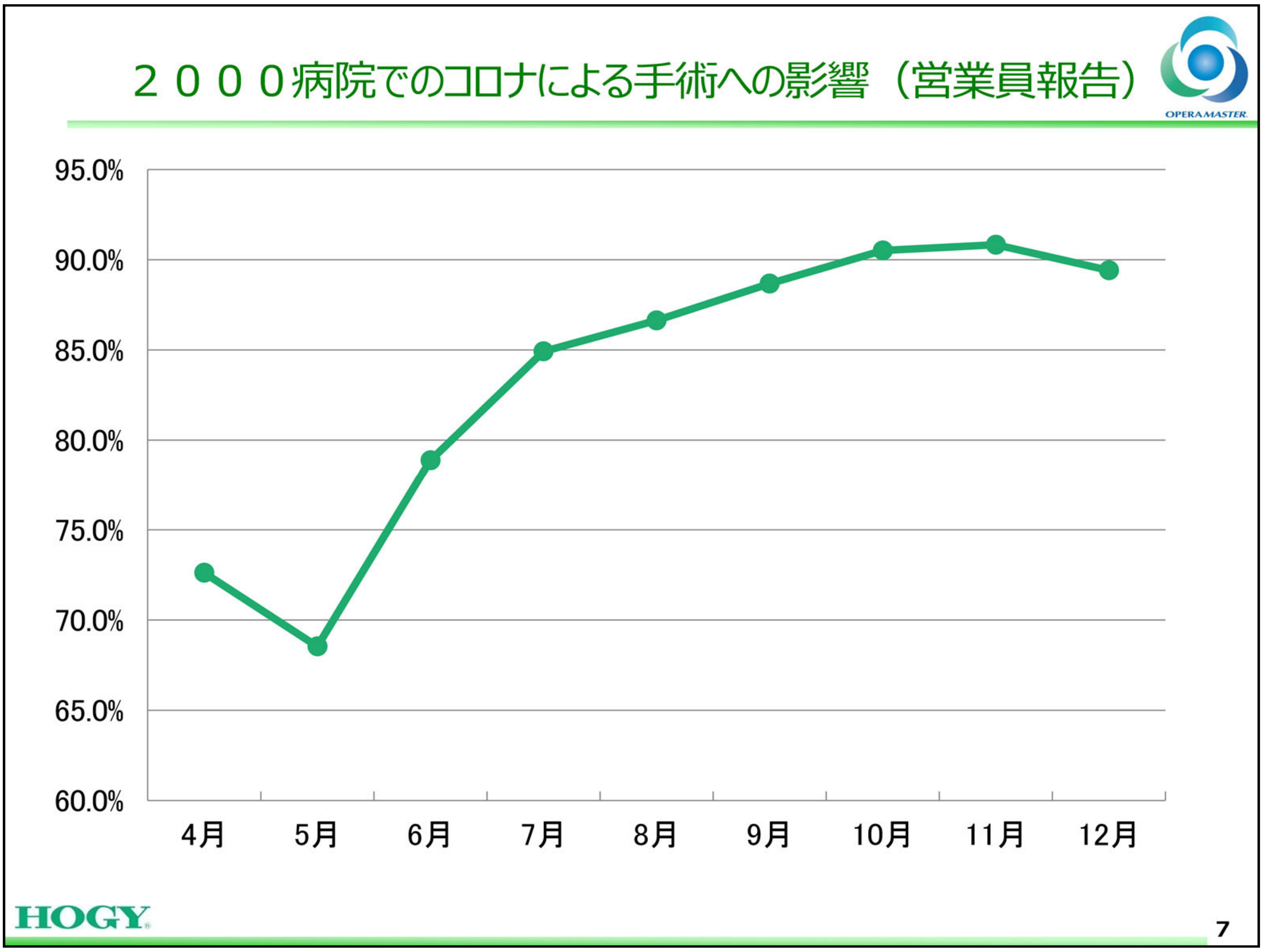
HOGY

・新型コロナによるKITへの影響は依然として残るものの、手術件数の回復および、新規によりマイナス幅が縮小

・新型コロナの影響により一部製品で特需が発生

（単位：百万円）

製品	要因	1Q	2Q	3Q	3Q累計
KIT	新規等	124	154	292	570
	コロナ	-820	-430	-390	-1,640
	KIT 合計	-695	-275	-98	-1,069
不織布	コロナ (ガウン+ブリコーション)	120	340	310	770
	海外	23	101	99	223
	その他	-204	-218	-121	-543
	不織布 合計	-82	226	287	430
メッキンバッグ	コロナ	-40	-40	0	-80
その他不織布	コロナ	160	180	130	470
上記要因以外		-24	-72	-37	-133
合計		-661	15	282	-363

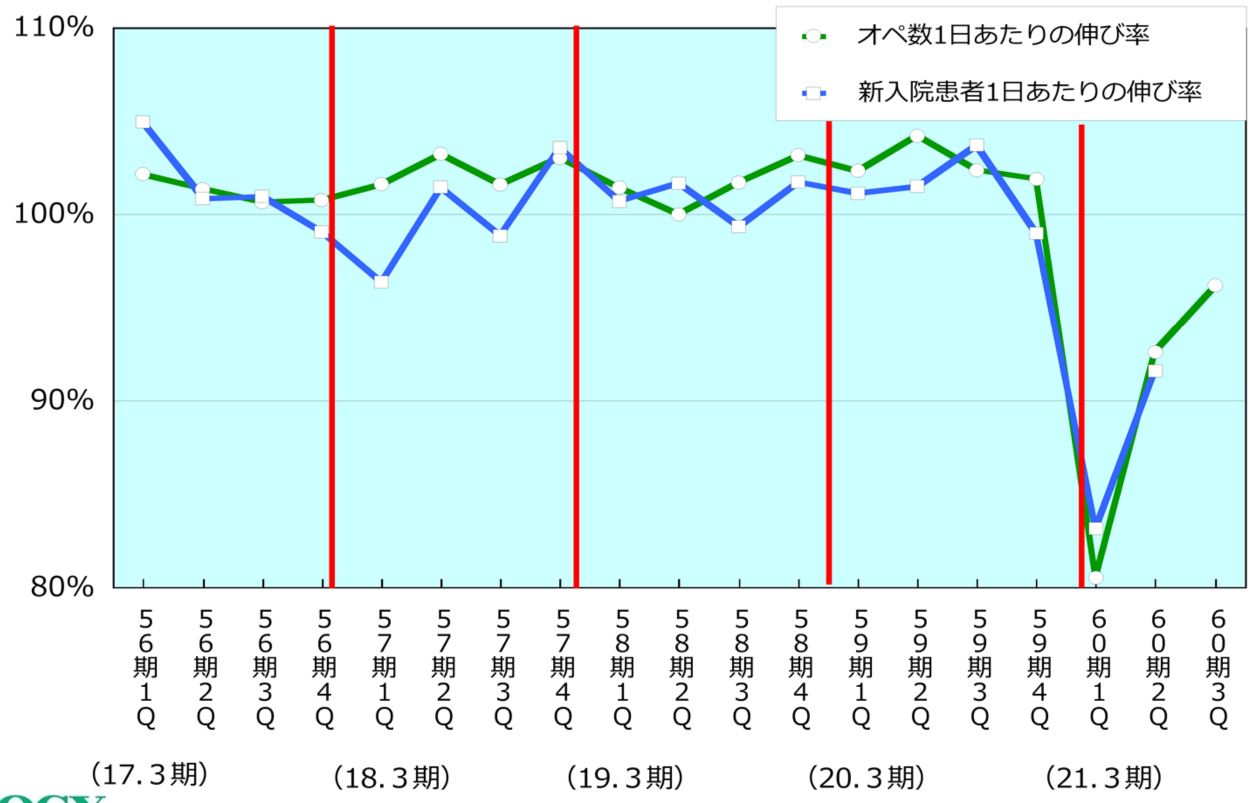


・弊社営業員調べによる約2000病院でのコロナによる手術件数への影響を調査結果

・手術件数は回復にあったが、12月は先月より減少した

・緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向にある

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と新入院患者の伸び率/日



HOGY

8

・オペラマスター契約病院では4%程度の影響が残っている

第60期（2021年３月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,310		△922	97.5%
営業利益	5,307	14.3%	5,490	15.1%	182	103.4%
経常利益	5,791	15.6%	5,930	16.3%	138	102.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,529	14.9%	4,980	13.7%	△549	90.1%
EPS	183.07円		164.64円			

HOGY

10

■コロナの影響について

- コロナの影響による手術件数への影響は１Q：１８%減、２Q：１０%減、下期９%減を予測を継続

■売上高

- 手術件数に起因する製品は販売額を減少、マスクやプリコーションは特需の影響により増加を見込む
- 人手不足が顕著に出ており「業務効率」と「医療安全」に貢献できるプレミアムキットの提案強化

■原価

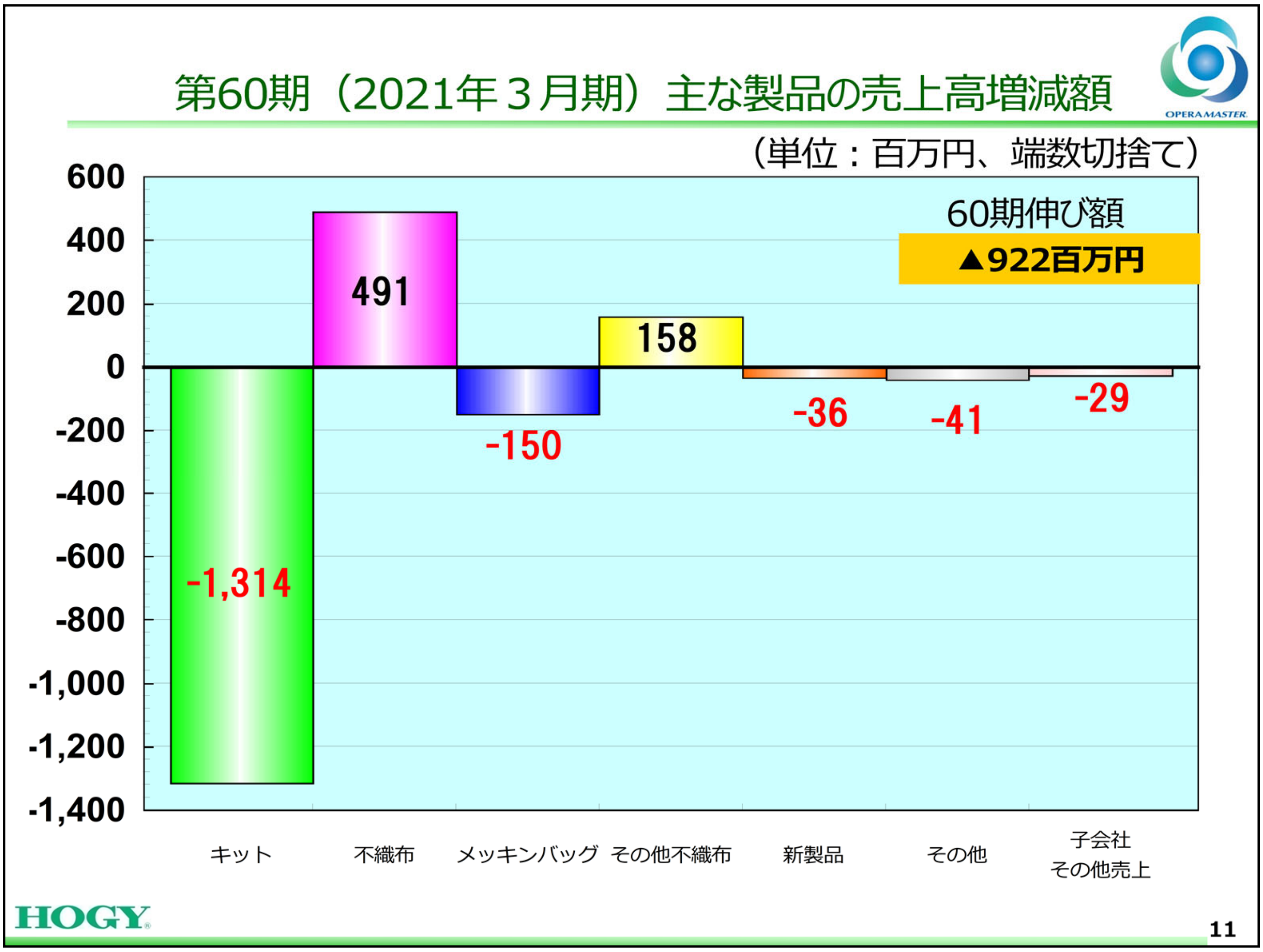
- 製造量減少による操業時間の減少
- 償却費の減少

■販売管理費

- 営業活動減少による、旅費交通費・見本費等の減少

■特別利益

- 株式売却益を計上



■キット製品はコロナによる影響で▲1,960百万円の影響を受ける

■プレミアムキットで646百万円増収を見込む

■不織布製品では感染防止関連製品の特需を見込む
（ガウン・プリコーションセット）（440百万円）

（プリコーションセット内容）
・サージカルガウン、フェイスシールド、
N95マスク、グローブ、シューズカバー、
キャップ

四半期別　新型コロナ影響額(通期)

（単位：百万円、端数切捨て）

	1Q	2Q	3Q	4Q計画	通期合計
KIT	-820	-430	-390	-320	-1,960
その他不織布	160	180	130	-250	220
不織布（ガウン＋プリコーション）	120	340	310	130	900
不織布（ドレープ等）	-160	-150	-40	-250	-600
メッキンバッグ	-40	-40	0	-70	-150
合計	**-740**	**-100**	**10**	**-760**	**-1,590**

プラス合計	280	520	440	130	1,370
マイナス合計	-1,020	-620	-430	-890	-2,960

HOGY

今後の対応

■市場環境

・第3波の影響により医療機関での手術件数減少が起こる可能性

・医療機関での手術への対応が2極化

✓ 先送りした手術への対応が必要（患者の顕在化も起こる）

✓ 手術減少による経営の悪化

・コロナにより従来必要としていなかった業務が増加し、益々**医師看護師への負担が増加**

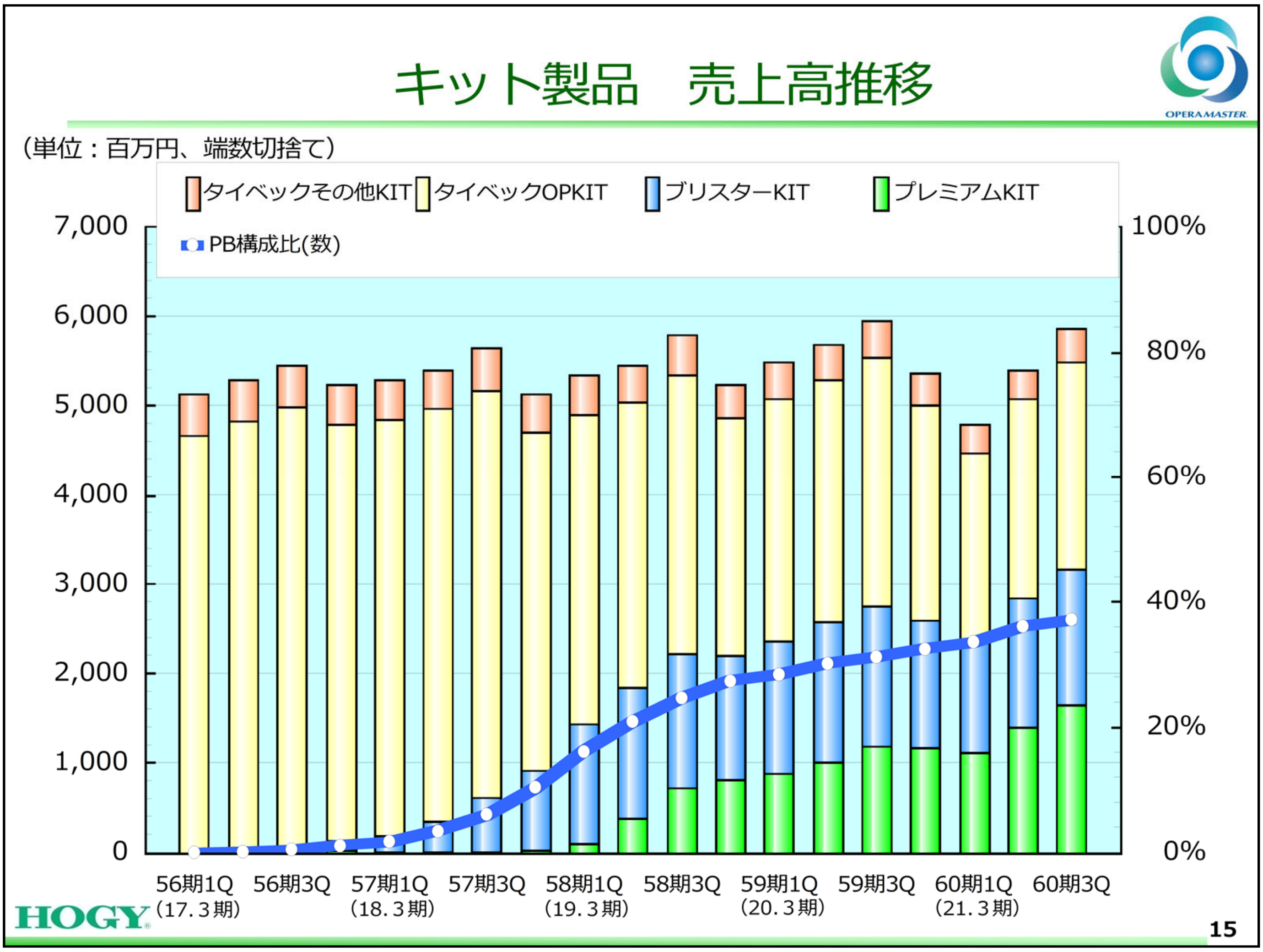
・医療機関での機能分化が加速する可能性

■医療機関での**人員不足が加速**しており、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化

■R-SUD3件の許認可取得　販売に向け準備

HOGY

実績の詳細



・新型コロナの影響でタイベックキットを中心に販売量が減少

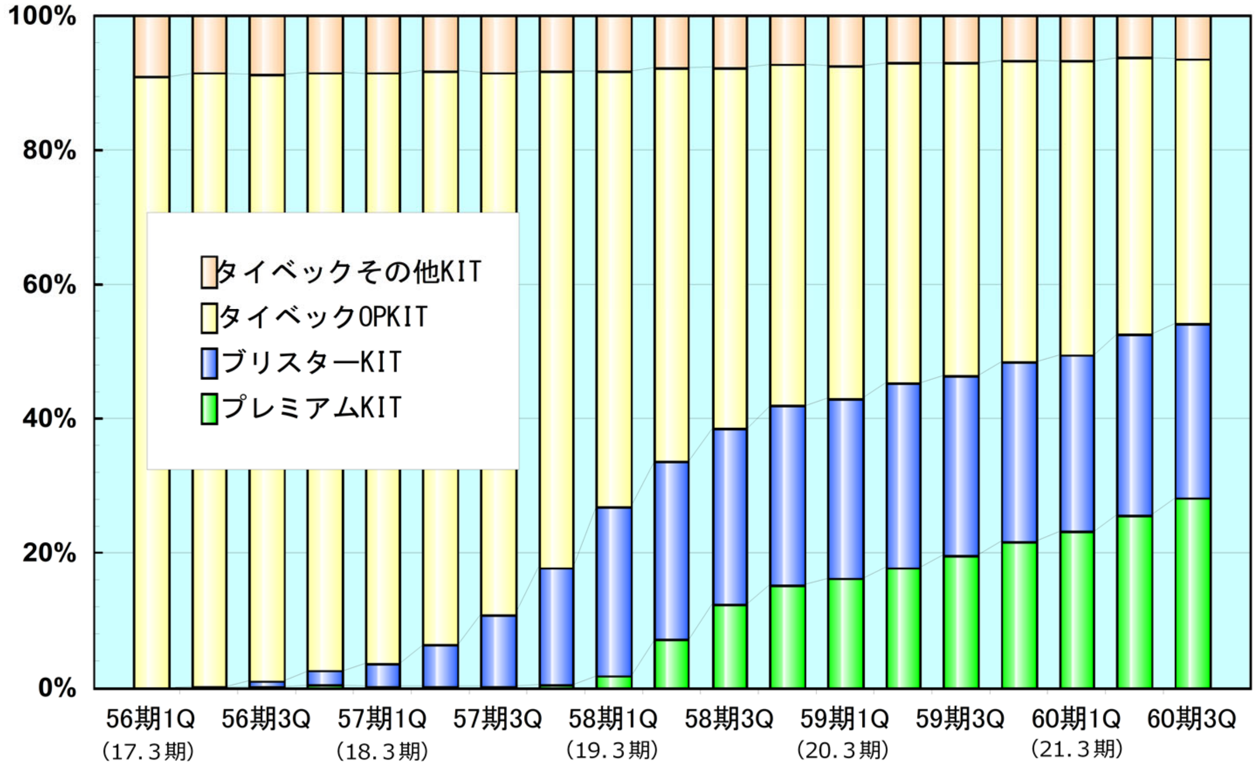
・緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向

・60期第3四半期　前年比

✓ プレミアム、ブリスター：＋403百万円、114.6%

✓ タイベックキット　　　：△502百万円、 84.2%

キット製品　販売構成比　推移



HOGY

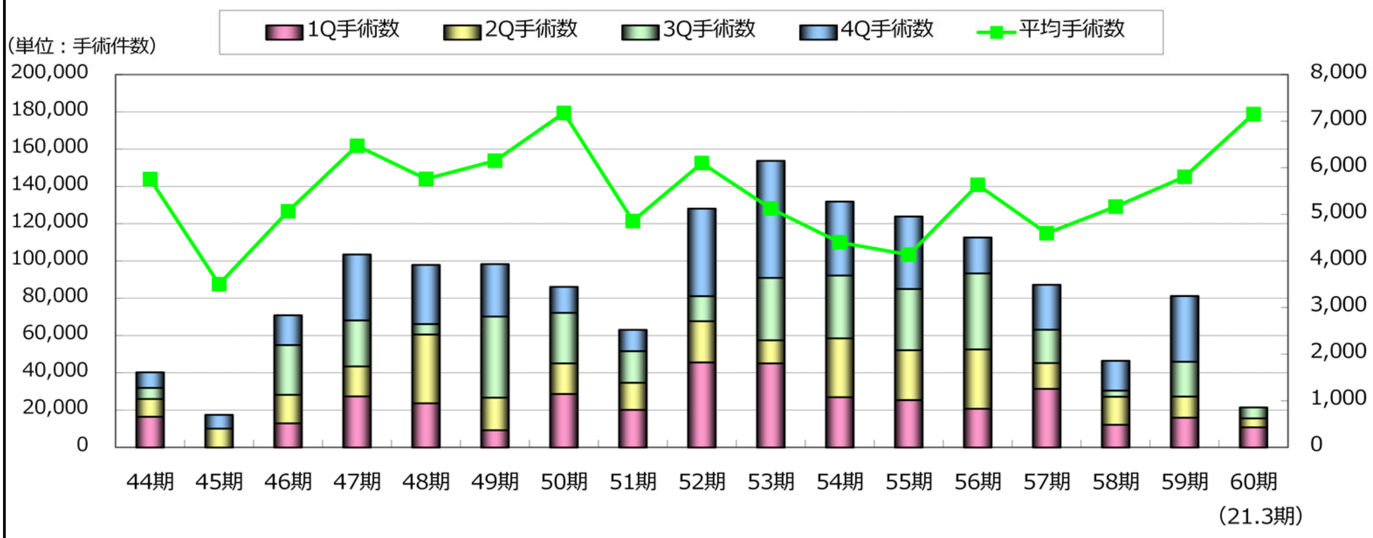
16

・新型コロナの影響によりタイベックキットが減少したことにより、プレミアムキットの構成比が上昇

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高　：10,771百万円（前年比△697百万円： 93.9%）
60期契約施設数：新規3施設 、解約5施設
累計契約施設数 ：276施設

オペラ契約期別　獲得手術数＆平均手術数



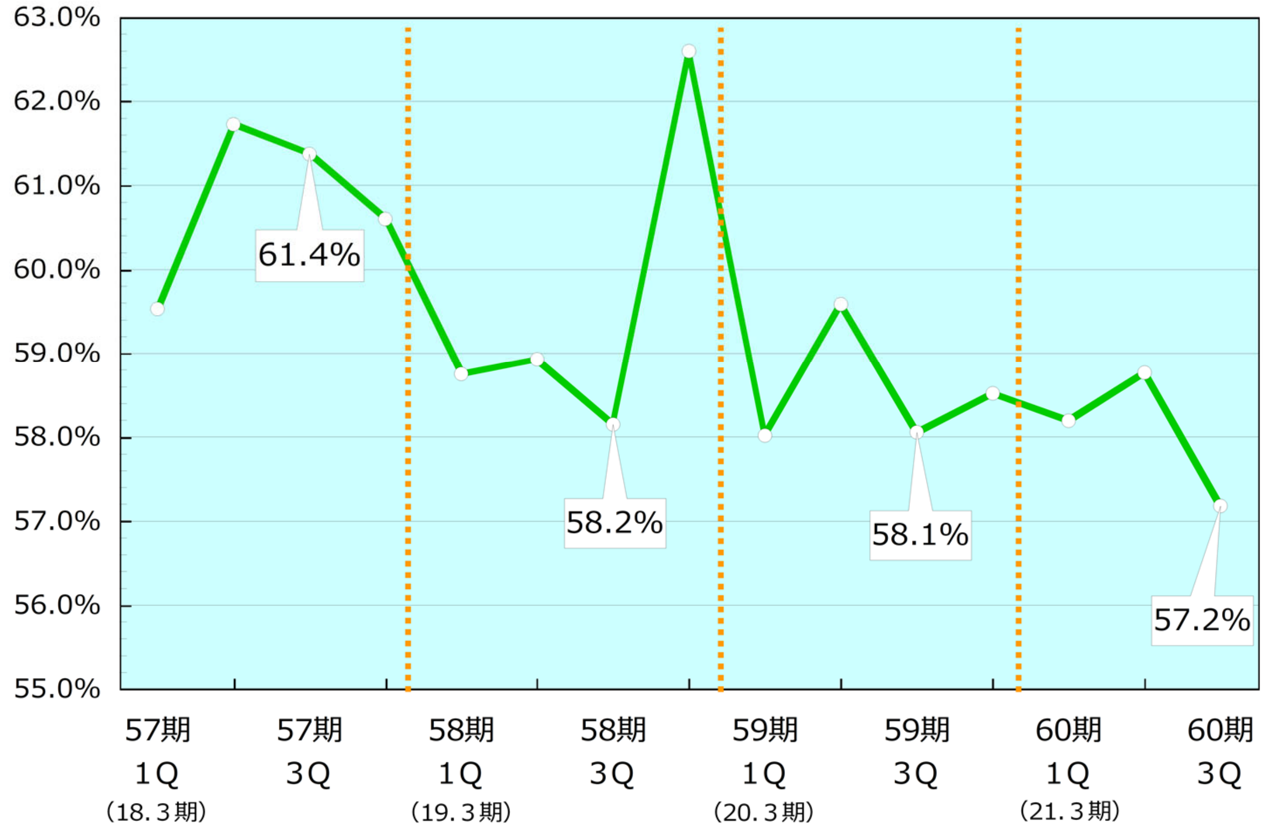
HOGY

・60期新規契約病院3件（Ⅰ群2件　Ⅲ群1件）

・60期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は7,100件

・オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率推移



HOGY

18

・製造量減少に伴う生産性への影響（約430百万円）

・第2四半期にてスポット購入したガウンが割高による影響

・新工場償却費の減少

償却合計　：3,395百万円（前年比：505百万円減)

・原価　　：2,719百万円（前年比：408百万円減）

・販管費：　675百万円（前年比：　97百万円減）

第60期（2021年３月期）第3四半期損益計算書

単位：百万円 切捨て	20.3 59期3Q実績		21.3 60期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売　上　高	28,060		27,696		△363	98.7%
売　上　原　価	16,430	58.6%	16,070	58.0%	△360	97.8%
売 上 総 利 益	11,629	41.4%	11,626	42.0%	△3	100.0%
販売費及び一般管理費	7,525	26.8%	7,118	25.7%	△407	94.6%
営　業　利　益	4,104	14.6%	4,508	16.3%	403	109.8%
営 業 外 損 益	415		411		4	
経　常　利　益	4,520	16.1%	4,919	17.8%	399	108.8%
特　別　損　益	1,941		1,025		△915	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,576	16.3%	4,296	15.5%	△279	93.9%
E　P　S	151.52円		142.11円			

主な増減科目	前年比
旅費交通費	△181
減価償却費	△97
見本費	△95
人件費	95

一部株式売却益
2020年３月期：1,942百万円
2021年３月期：1,028百万円

HOGY

19

・販売管理費：7,118 百万円(△407百万円)
  - ✓ 人件費：前年度利益増加に伴う人件費上昇
  - ✓ 旅費交通費、見本費：営業活動自粛の影響

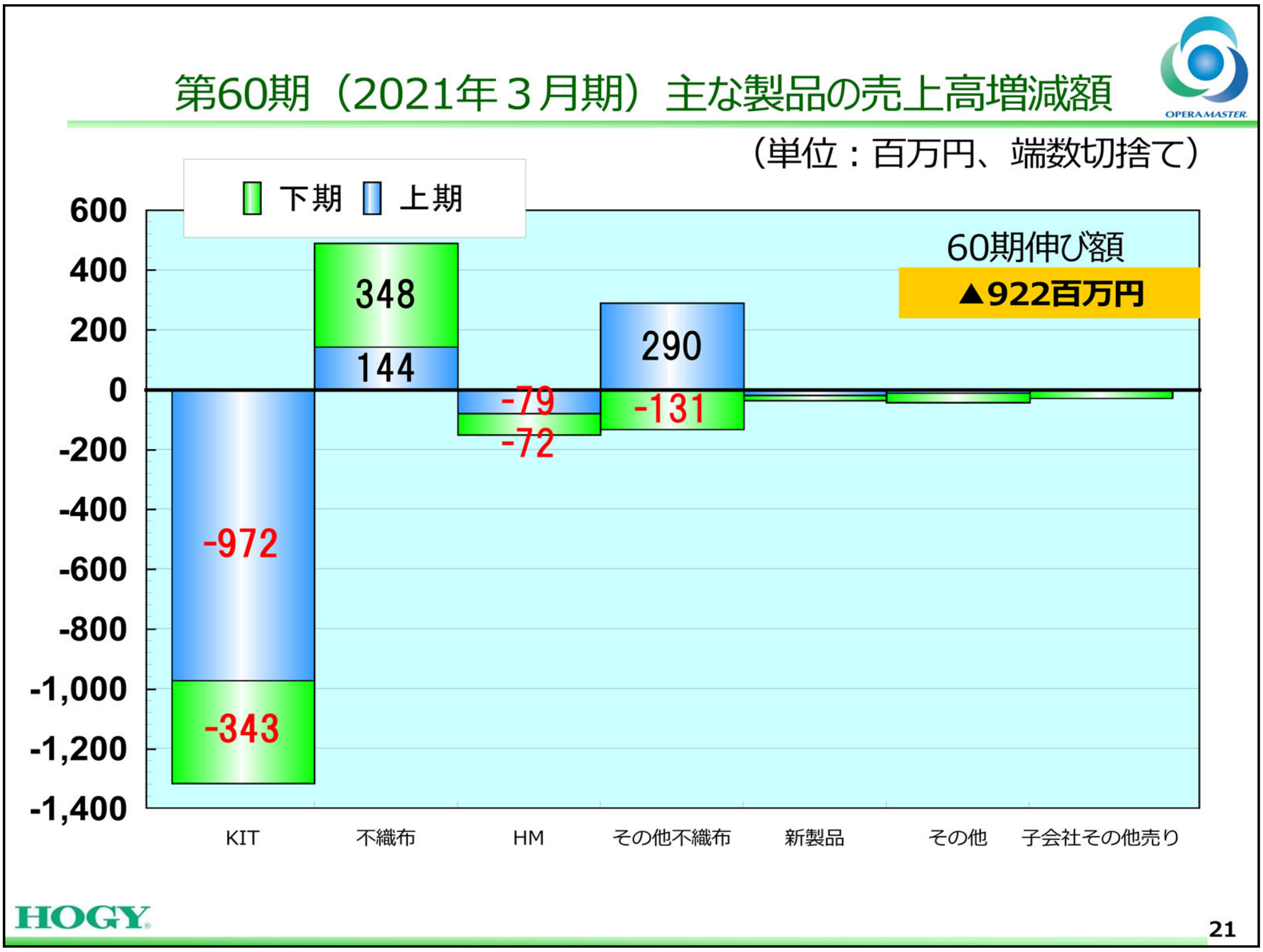
・営業外：保有外貨預金の為替差益が発生

・特別利益：有価証券売却益の計上

・設備投資：2,893百万円(内新工場追加：2,096百万円)

第60期（2021年３月期）経営計画

HOGY



■キット製品はコロナによる影響で▲1,960百万円の影響を受ける

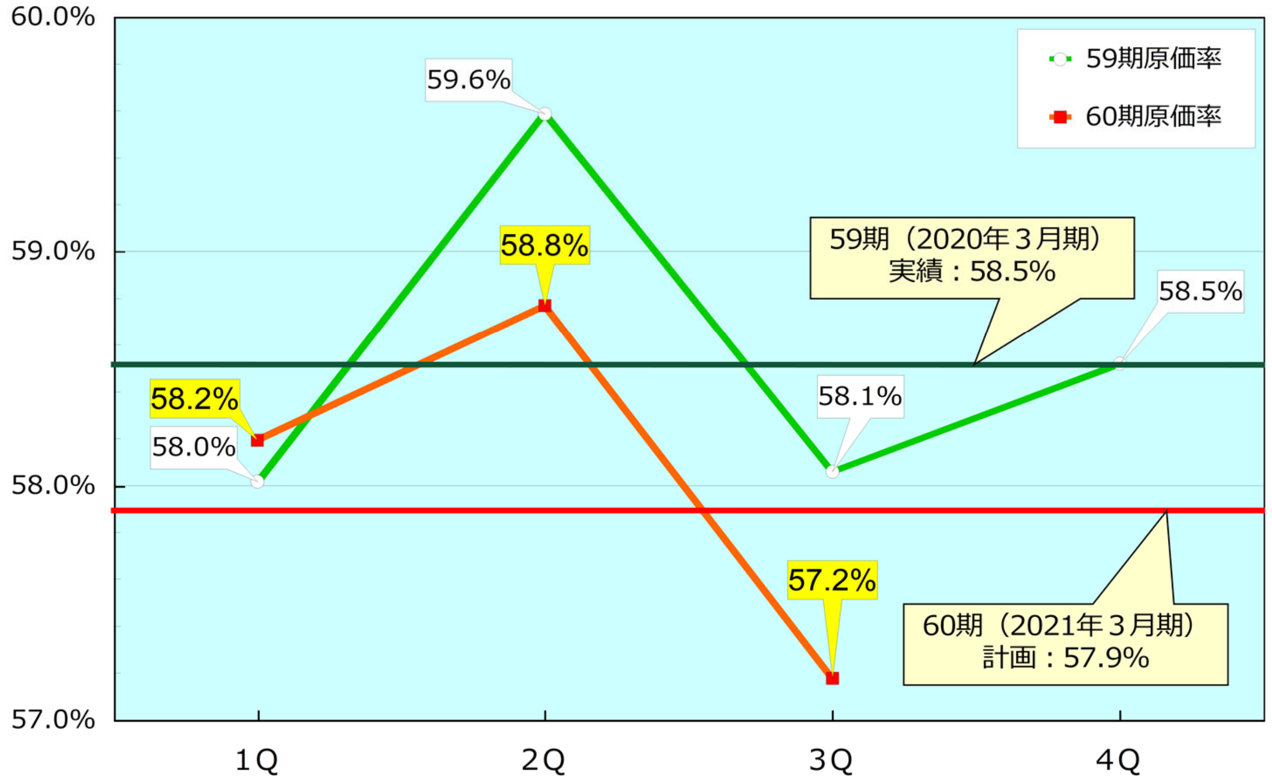
■プレミアムキットで646百万円増収を見込む

■不織布製品では感染防止関連製品の特需を見込む
（ガウン・プリコーションセット）（440百万円）

（プリコーションセット内容）

・サージカルガウン、フェイスシールド、
N95マスク、グローブ、シューズカバー、
キャップ

第60期（2021年3月期）損益計算書



22

・新工場償却費の減少

償却合計：4,620百万円（前年比：663百万円減)

・原価　　：　3,690百万円（前年比：522百万円減）

・販管費　：　　930百万円（前年比：140百万円減）

・生産量減少による原価率の増加

・コーポレートレート110円

第60期（2021年3月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,310		△922	97.5%
売上原価	21,798	56.8%	21,010	57.9%	△788	96.4%
売上総利益	15,434	43.2%	15,300	42.1%	△134	99.1%
販売費及び一般管理費	10,126	26.6%	9,810	27.0%	△316	96.9%
営業利益	5,307	16.5%	5,490	15.1%	182	103.4%
営業外損益	483		440		△43	91.0%
経常利益	5,791	17.6%	5,930	16.3%	138	102.4%
特別損益	1,934		1,020		△912	52.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,529	13.7%	4,980	13.7%	△549	90.1%
EPS	183.07円		164.64円			

主な増減科目	前年比
人件費	235
旅費交通費	△198
減価償却費	△140
見本費	△105

一部株式売却益
2020年3月期：1,942百万円
2021年3月期：1,028百万円

配当額
2021年3月期：68円（2円増配）

HOGY

23

- 販売管理費：9,810百万円(△316百万円)
  - ✓ 旅費交通費・見本費：新型コロナによる営業活動への影響
  - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
  - ✓ 人件費　　：利益増加に伴う人件費上昇

- 特別利益：一部株式の売却による利益計上

- 設備投資：5,200百万円(内新工場追加：3,660百万円)

2021年１月18日（月）

第60期（2021年３月期）
第３四半期決算説明会

（2020年４月１日～2020年12月31日）

執行役員　管理本部長　川久保　秀樹
経営企画部　広報課　山下　洋

HOGY

24